



H29. 5. 12. No1359
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁業振興課
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 第82回大漁祈願祭が挙行される

—大漁と航海の安全を祈願—

県漁連では、4月13日三島大社において県内水産団体協賛のもと、第82回大漁祈願祭を挙行了しました。この祈願祭は、我が国最初の漁業法が、明治34年4月13日に誕生したのを記念し、昭和8年に定められた水産デーの主行事として昭和9年から毎年（戦時中の2年を除き）恒例として執り行われています。本年も県をはじめ県内の関係漁業者52名が参列し、本殿神前には各漁協等からタイ・ヒラメ・桜エビ・伊勢エビ・金目鯛・干物など多くの海の幸が奉納され、禰宜や巫女による舞が奉納された後、本会・県・地区運営委員会及び水産関係団体の代表者が玉ぐしを奉げ、本年度の大漁と航海の安全を祈願しました。

2. 平成29年度JF静岡漁連業者会

—JF静岡漁連販売部—

県漁連販売部では、4月18日、県水産会館において「平成29年度JF静岡漁連業者会」を開催しました。

当日は、販売事業食品部門に関する納入業者を中心に40社46名が参加、冒頭、主催者側を代表して県漁連宮崎常任理事より参加業者に対し、日頃の取引に対する謝意が述べられ、28年度県漁連販売部門の概要報告並びに平成29年度事業方針の説明と組織構成並びにスタッフが紹介され、本会事業への一層の理解・協力を依頼する挨拶がありました。

引き続き森下静岡事業所長、牛島沼津事業所長が、各事業所における平成28年度事業報告並びに平成29年度事業方針について説明を行い、年間を通じた取引に協力を依頼しました。

また当日は、静岡県健康福祉部 生活衛生局衛生課食品乳肉衛生班 中島洋平氏を講師に迎え『HACCPによる衛生管理の推進について』と題し、食品加工に関する研修会が開催されました。

3. 平成29年春の叙勲

政府は、4月29日付で、平成29年春の叙勲受章者を発表し、本県の水産関係者からは、宮原淳一氏（JF静岡信漁連会長、由比港漁協組合長）、外山廣文氏（前田子の浦漁協組合長）が、長年に亘る沿岸漁業振興と組織の基盤強化に尽力・寄与された功績が認められ、それぞれ旭日小綬章と旭日単光章（いずれも水産業振興功労）を受章されました。

ここに、宮原様、外山様に心よりお喜び申し上げ、今後一層のご活躍を期待いたします。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

4. 平成29年度（48期）入学式

—県立漁業高等学園—

静岡県立漁業高等学園（青木一永園長）で4月6日、平成29年度（48期）入学式が執り行われました。

本年度の新入生は、15歳4人、16～19歳14人、20～30歳1人の計19人で、県内出身者11人（浜松市3人、伊豆の国市、三島市、沼津市、藤枝市、菊川市、袋井市、磐田市、周智郡森町が各1人）と県外出身者8人（埼玉県、愛知県が各2人、千葉県、東京都、兵庫県、山口県が各1人）。生徒は、これから1年間の寮生活を送り、漁船乗組員になるための職業訓練に取り組みます。

式典では、青木園長が「規則正しい生活習慣を身に付け、仲間を大切に、周りに気を配り、自分の役割を自主的に果たして、海で働くという夢を自分の手でつかんでほしい」と式辞を述べ、続いて、県漁連荒川邦夫会長、中野弘道焼津市長（久保山悦宏水産部長代読）、中平英典県経済産業部水産局長の各来賓から激励の言葉が述べられました。これに答え入学生徒を代表して小関心一郎さん（埼玉県出身、18歳）が「静岡県漁業の将来を背負い、良き後継者となるよう努力していきます。」と誓いの言葉を述べました。

なお、漁業高等学園は水産庁の「次世代人材投資事業」（準備型）の対象校となっており新入生は要件を満たせば、漁業就業準備資金として年間150万円の給付を受けることができます。

5. 本年度漁業経営セーフティーネット申込み

—平成29年度—

本年度、漁業経営セーフティーネットの申し込みが3月31日をもって締め切られ、本年度の申込者数・積立金額が確定しました。

漁業用燃油においては、平成26年度第3四半期以降、補填が発動されておらず、今後も補填の可能性が低いことから加入者の減少が懸念されましたが、平成28年度補正予算の水産関係各補助事業において当該事業への加入が申請要件となっていることもあり、解約数はごくわずかで、新規契約者を加えた申込件数はほぼ横ばいとなりました。積立金額については、補填が発動されていないことを受け、既加入者の積立金はそのまま留保されていることから、多くの契約者が、積み増し程度の申し込みとなったことから、減少となりました。

一方、配合飼料は著しい価格変動はなく、全四半期で補填が発動されました。今年度申込みについては、各契約者が、前年度発動実績を踏まえた申込みとなり、申込件数は昨年並みとなり、積立金額については、微減となりました。

平成29年度の申込者数・積立金額は以下のとおりです。

〈燃油〉申込件数 505件 積立金額 76,275,100円

〈配合飼料〉申込件数 63件 積立金額 97,133,000円

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう